

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課



- ・ハスモンヨトウ：南東北、南関東、東海、近畿、四国、九州の一部の地域
- ・オオタバコガ：北東北、東海、近畿、四国、九州の一部の地域

- ・シロイチモジヨトウ：関東、東海、近畿、四国、北九州の一部の地域
- ・かんきつのハダニ類：東海の一部の地域

この他、トマトのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和6年度 病害虫発生予報第9号」の発表について（令和6年11月13日付け農林水産省プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/241113.html>

○これまでの病害虫発生予報についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

（担当：岡田、城野、河合）（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆今週は「世界薬剤耐性（AMR）啓発週間」です。関係者と連携して薬剤耐性対策に取り組みましょう！

【消費・安全局 畜産安全管理課】

=====

「薬剤耐性菌」は抗菌薬の不適切な使用により、薬剤耐性菌が増加すると本来効果があつた抗菌剤が効きにくくなり、畜産物の生産に支障が生じる可能性があります。

これは世界的にも重要な問題となっており、抗菌薬を使用する全ての方にその使い方を見直していただくため、11/18～11/24が世界薬剤耐性（AMR）啓発週間とされています。

薬剤耐性菌を増やさないためには、施設内の洗浄・消毒の徹底など、日頃の飼養衛生管理を徹底することで感染症を予防し、抗菌薬の使用機会を減らす慎重使用の取り組みが重要です。

普及指導員の皆様におかれましては、抗菌薬の慎重使用について、生産者の皆様にお伝えいただき、今一度、抗菌薬の使い方の見直しを促していただくようよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○動物に使用する抗菌性物質について

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html>

○薬剤耐性（AMR）対策推進月間についてのリーフレット（生産者向け）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/attach/pdf/torikumi-37.pdf>

○畜産生産者向け薬剤耐性対策普及啓発動画（YouTube）

https://www.youtube.com/watch?v=g_aV3SG8Z-g

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課

(担当：福永、出口、田中、富金原) (03-3502-8097)

=====

◆農業用ハウスをお持ちの農業者のみなさん 冬期の大雪に備えましょう！

【経営局 保険監理官】

=====

毎年、冬期の大雪によって、農業用ハウスが倒壊する被害が発生しています。近年では、特に令和2年から3年の冬期の大雪によって農業用ハウスに大きな被害が発生しました。先日発表された気象庁の今冬の予報では、北海道から山陰にかけての日本海側の降雪量が多くなることが予想されています。

このため、農業用ハウスの大雪被害を防止するため、各種被害防止技術（下記URL参照）を参考に、日頃からの点検・保守管理、補強などの対策が重要です。

また、農林水産省では日頃の対策を点検できる「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP」のフォーマット（園芸用）の活用を推進しています。

さらに、園芸施設共済等の農業保険への加入も重要です。園芸施設共済は、農業用ハウスのための保険で、全国で施設園芸農業者の4人のうち3人の方にご利用いただいています。

普及指導員の皆様におかれましては、施設園芸農業者の皆様に、農業版BCPの活用や園芸施設共済等の農業保険への加入を勧めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら

○施設園芸の台風、大雪等被害防止と早期復旧対策

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/sisetsu/saigaitaisaku.html>
1

○自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP

https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

○施設園芸農家のための園芸施設共済

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/attach/pdf/index-61.pdf>

○農業経営の収入保険

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syunyuhoken/index.html>

○各地域の農業共済組合(NOSAI)連絡先一覧

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/contact.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 保険監理官 (担当：藤原、岸田)

(03-3502-7394)

=====

◆「地域計画」の策定と実現について

【経営局 経営政策課】

=====

地域計画は、令和7年3月末までに全国で策定される、農業者や地域の皆さん

の話合いで作る地域農業の将来の設計図です。

既に策定されている地域もありますが、地域計画は策定して終わりではなく、計画を定期的に見直すことや、計画の実現に向けて取り組んでいくことがとても重要です。

地域計画の策定はもちろん、その実現には普及指導員をはじめとする農業関係機関等の協力が不可欠です。

普及指導員の皆様におかれましては、都道府県の地域計画担当課と連携いただき、積極的に地域計画の取組についてご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/chiiki_keikaku.html

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 経営政策課（担当：小村）

（０３－６７４４－１７６０）

=====

◆〈参加費無料〉農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ

【独立行政法人 農業者年金基金】

=====

農業者の皆様に農業者年金をもっと知っていただきたく、新たにオンラインセミナーを開催いたします。

本セミナーでは、農業経営等に知見のある専門家の堀口浩様（（株）GSTELLA ENTERPRISE 代表）を講師として招き、農業経営における農業者年金の活用方法や資産運用における農業者年金の特徴（メリット）などを解説していただきます。

普及指導員の皆様におかれましては、地域の農業者、特に若い農業者や女性農業者に向けて本セミナーの開催についてお知らせいただくとともに、ご自身の農業者年金の理解向上のためにも、この機会に是非ご参加ください。

開催日時：令和６年１２月１１日（水）１５：００～１６：００

申込締切

１２月１０日（火）※定員（先着５００名）に達した場合は、申込を締切ります。

○申込フォーム

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_A7ofmMwXTBwaLsliY3ysHQ

○詳細はこちら

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

※お問い合わせ先

独立行政法人 農業者年金基金（企画調整室）（０３－５９１９－０３３２）

農林水産省 経営局 経営政策課（担当：内村）

（０３－６７３８－６１６３）

=====

◆スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）の仮会員募集中！

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

令和6年10月1日に施行した「スマート農業技術活用促進法」に基づき、スマート農業技術の開発及び普及の好循環の形成を推進するため、多様なプレイヤーが参画する「スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）」の設置を予定しており、設置に先立ち仮会員を募集します。

IPCSAでは、農業者、JA、民間企業（農業支援サービス事業者等）、研究機関、農業高校・大学校等のほか、普及指導員を始め地方公共団体の皆様にも参画いただけます。

また、IPCSA設立に先駆け、令和6年9月30日に準備会合を開催し、1,000名以上の多様な方に参加いただきました。当日の様子は動画でも視聴いただけます。

スマート農業技術活用に関する研修の実施や、優良事例や開発状況など現場に役立つ情報の発信も予定していますので、登録についてぜひご検討ください。

▼詳細はこちら

IPCSA 仮会員登録：<https://www.naro.go.jp/collab/sappo/>

ス マ ー ト 農 業 技 術 活 用 促 進 法：
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/houritsu.html>

準備会合当日の様子：<https://www.youtube.com/watch?v=cwTnbV8Kdrs>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室

（担当：小島、本間、窪田、鈴木、町頭）（03-6744-0408）

=====

◆「アグリビジネス創出フェア 2024」を開催します！

【農林水産技術会議事務局 研究推進課】

=====

11月26日（火）から28日（木）まで、東京ビッグサイトにおいて「アグリビジネス創出フェア 2024」を開催します。本フェアは、農林水産・食品分野の研究成果に関する技術交流展示会です。

今年は、全国の136の機関が最新の研究成果を出展するとともに、（株）AGRIKO代表取締役で俳優としても御活躍の小林涼子氏による講演や、最新の研究成果に関するセミナーなど、様々な企画を行います。

普及指導員の皆様におかれましては、ぜひ御来場いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら

<https://agribiz.maff.go.jp/>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課（担当：奥田）

（03-6744-7044）

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉「みちしずく」の導入による安定生産と農薬の低減

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

みどり戦略技術紹介では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回ご紹介するのは、安定生産と農薬の低減を実現する、焼酎・でん粉原料用かんしょ新品種「みちしずく」です。

「みちしずく」は、焼酎原料用の主力品種「コガネセンガン」よりも基腐病に強く、防除対策のための農薬使用量の低減が期待できます。また、いもの収量は「コガネセンガン」より2割ほど多く、焼酎にした時の酒質は「コガネセンガン」の焼酎に似ています。さらに、でん粉原料用の主力品種「シロユタカ」よりもでん粉収量が2～3割ほど多く、でん粉の白度も高いため、でん粉原料用としても優れています。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：畑作)p. 9

○「みちしずく」の導入による安定生産と農薬の削減

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/02_midori_catalog4_crop.pdf#page=9

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

○みちしずくの種苗の生産・譲渡に係る利用許諾契約のお申し込みは随時受け付けています。

下記のメールフォームでお問い合わせください。

○研究・品種についてのお問い合わせ

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/hinshu>

一般の方の種苗の入手先は以下でご確認ください。

○農研機構育成品種の種苗入手先リスト

https://www.naro.go.jp/collab/breed/seeds_list/index.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室(担当：小花和、高橋)

(03-3502-3162)

=====

◆農作業者と対話しながら、より安全な農作業に向けた目標を作成しましょう！(対話型研修のススメ)

【農林水産研修所 つくば館】

=====

対話型研修とは、研修の参加者と研修担当者が意見交換をしながら、研修参加者が自発的に農作業安全目標を作成し、取り組むように促す研修です。

この度、対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得するための研修をオンラインで実施します。いずれも定員20名、同じ内容を予定しています。

受講希望の方は、受講申請書と事前提出物に必要な事項を記載の上、電子メールにより申し込みをお願いします。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加及び関係者への周知をよろしくお願い申し上げます。

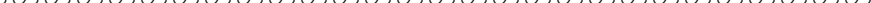
対話型研修実施手法習得コース2：令和6年12月13日（金）9：30～16：30
申込期限：11月29日（金）

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/anzen/06taiwa.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館（農業機械研修担当）

$$(0\ 2\ 9 - 8\ 3\ 9 - 9\ 4\ 8\ 1)$$


※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。